

表1 学習・教育到達目標と基準 1(2)の(a)～(i)との対応

各学習・教育到達目標 [(A)、(B)、(C)・・・] が基準 1 の(2)の知識・能力 [(a)～(i)] を主体的に含んでいる場合には◎印を、付随的に含んでいる場合には○印を記入する。

基準 1(2)の 知識・能力 学習・教育 到達目標	(a)	(b)	(c)	(d)			(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
				(1)	(2)	(3)					
(A)	◎	◎							○		
(B)			◎	◎	◎	◎					
(C)						◎				○	○
(D)						◎	○				
(E)						○		◎			
(F)	○	○				◎	◎		◎	◎	◎

高知工業高等専門学校建設工学プログラムの学習・教育到達目標

1 基本的人格と社会的責任 (技術者倫理)

(A) 社会との関わりに配慮した、徳性豊かで風格高い人間・技術者

2 基礎的技術の修得と活用 (技術者知識)

(B) 早期一貫教育による数学・自然科学や専門基礎に関する知識

(C) 実験・実習を重視した実践的技術

(D) 地域特性を生かした環境・防災・情報などを含む総合的知識

(E) 世界に飛躍するために必要な基礎的語学力やコミュニケーション能力

3 豊かな創造力と行動力 (技術者能力)

(F) 豊かな創造力・指導力を持ち、技術的諸問題を主体的に解決する能力

基準 1(2) プログラム修了時点の修了者が身につけておくべき知識・能力

(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養

(b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に対して負っている責任に関する理解

(c) 数学及び自然科学に関する知識とそれらを活用する能力

(d) 該当分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力

(e) 種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力

(f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力

(g) 自主的、継続的に学習する能力

(h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力

(i) チームで仕事をするための能力

基準 2.1(1) 土木及び関連の工学分野の学士課程プログラムに関する分野別要件

(1) 応用数学

(2) 自然科学(物理、化学、生物、地学のうち少なくとも1つを含む)

(3) 土木工学の主要分野(土木材料・施工・建設マネジメント/構造工学・地震工学・維持管理工学/地盤工学/水工学/土木計画学・交通工学/土木環境システム)のうち、最低3分野以上を含むこと